



RULE BOOK スポGOMI甲子園 2024 ルールブック

大分県大会

Rule Book

TITLE 競技エリア

1

■競技エリア



■注意事項

- 競技時間60分の中であれば、エリア内を自由に移動する事が可能。ただし、60分以内に開閉会式会場にチーム全員が戻れなかった場合は、マイナス100ポイントとなる。
- 電車／バス／タクシー／自転車など、徒歩以外の手段で移動する事は禁止。

TITLE 競技ルール

■基本ルール

- 高校生3人組を1チームとする。
 - 参加チームには、軍手／トング／ごみ袋（700mm×500mm＝30ℓ）／吸殻用ごみ袋／ルールブックを配布。
 - 60分の制限時間の中で、決められたエリア内のごみを拾い、その質と量をポイントで競い合う。
 - 10g以下の重量は会場にて、スポGOMI連盟担当者と調整。
- ※オリジナルアイテムと事務局より貸し出すトング以外のごみ拾い用具の使用可。

■ごみの種類とポイント

 **燃えるごみ [赤 30ℓごみ袋]**

紙類／布類／雑誌類／弁当・食品容器包装ごみ／コンビニ袋など

※草／落ち葉／枝／家屋廃材などは含まず。

 **100 g → 10 point** ※100g以下は会場調整

 **燃えないごみ [青 30ℓごみ袋]**

ビニール傘／ガラス類／鍋／フライパン せとの類／電池／ライター／鏡／金属類など

※小型電化製品（ドライヤー／シェーバーなど）程度の大きさは可。それ以外は粗大ごみ扱い。ブロックやレンガは含まず。

 **100 g → 5 point** ※100g以下は会場調整

 **ビン／缶 [赤 30ℓごみ袋]**

中身を捨てたもの

 **100 g → 20 point** ※100g以下は会場調整

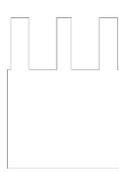
 **ペットボトル [青 30ℓごみ袋]**

中身を捨てたもの
※フィルムは剥がさなくてOK

 **100 g → 40 point** ※100g以下は会場調整

 **タバコの吸殻 [半透明 レジ袋]**

タバコの箱は燃えるごみへ

 **100 g → 50 point** ※100g以下は会場調整

 **粗大ごみ** ❌

粗大ごみは処理が困難なため、拾わないものとする。
例：バッテリー／DVDプレイヤー／扇風機／布団／座布団／ダンボールの束／消火器／コンクリートブロック／金庫／90cm以上の金属棒／タイヤ／車輪／マンホールの蓋／三角コーン／コンロ／パソコン／ベビーカー／炊飯器／配布するごみ袋（700mm×500mm＝30ℓ）に入らない大きなごみ／長さ90cm以上のごみ（基準：傘より長い物）など

マイナス100 point

■減点／失格対象

競技中に走ること／メンバー同士が離れすぎること／粗大ごみを拾うこと／分別方法を無視すること／競技時間を守らないこと／メンバー全員揃って競技終了しないこと 詳細12ページ参照

マイナス100 point

スタッフの指示に従わない／公序良俗に反する行為／故意に重量を増やす行為 詳細6ページ参照

失格

TITLE オリジナルアイテム

3

■オリジナルアイテム賞とは

- 大会参加にあたって、参加チームが独自に考えて製作したゴミ拾いのアイテム。
- エリア局と事務局が、総合的に審査してオリジナルアイテム賞を選出。

■オリジナルアイテムの規定

- 組み立てたオリジナルアイテムの三辺（タテ+ヨコ+高さ）の合計が115cm未満であること。
 - 組み立てたオリジナルアイテムの重量が10kg以下であること。
 - 既存製品をそのまま使用することはオリジナルアイテムとは認められない。
 - ごみの運搬に特化したアイテムは、オリジナルアイテム賞候補から外れることがある。
- ※ごみの運搬に特化したアイテム例



■オリジナルアイテム審査基準

①ストーリー（背景）の分かるアイテム



事例

▶ストーリー（背景）

学校近辺にある量屋や飼料屋さんより廃材や使用後の飼料袋をいただき、それらをアップサイクルしてリュック型のオリジナルアイテムを作成

▶評価のポイント

100%オリジナルであり実用性が高く、環境にも配慮されていることが評価された。

②地元の文化的特徴を活かしたアイテム



事例

▶ストーリー（背景）

長崎県代表校として、地元で有名な龍踊りの龍をイメージして3つのかかごを装飾。それらを1つに合わせると1匹の龍になる仕掛けが。

▶評価のポイント

地域の文化をアイテムに込め、参加者に地域を知ってもらうきっかけを作っている。デザイン性が高い点も評価された。

③できるだけ環境に配慮した素材で作成されたアイテム



事例

▶ストーリー（背景）

町にポイ捨てされているペットボトルのラベルを利用してゴミ拾い用のオリジナルバッグを作成。ビニールなので水に強いという特徴を利用している。

▶評価のポイント

ポイ捨てされたペットボトルに着目し、ラベルを上手く再利用している。カラフルであることに着目し、色味を合わせてデザインされている点が評価された。

2024

海と日本 PROJECT

■競技上の主な注意点

- ①公序良俗に反する行為を行うこと。
- ②競技するにあたって、自分自身やチームメンバーの安全に注意を払うこと。
- ③交通ルールを守って競技を行うこと。
- ④車道に身を乗り出してごみ拾いをしないこと。
- ⑤運転手が車内にいる状態で停車している車の前後でごみ拾いはしないこと。
- ⑥幅が細い道では車に特に注意すること。
- ⑦競技時間・競技エリアを守ること。
- ⑧メンバー全員揃って競技を終了すること。
- ⑨競技終了後、閉会式会場に戻ったことを本部に報告すること。
- ⑩川や河川敷には立ち入らないこと。
- ⑪私有地には立ち入らないこと ※コインパーキングはOK。
- ⑫競技中は走らないこと。
- ⑬チームはまとまって行動すること。（先頭と最後尾が10メートル以内）
- ⑭電車／バス／タクシー／自転車など、徒歩以外の手段で移動しないこと。
- ⑮ごみの分別区別を守ること。
- ⑯故意にごみの重量を増やさないこと。（ごみ箱のごみを拾う／店舗からごみをもらう etc.）
- ⑰注射針や川の漂流ごみの液体など、危険なものには触れないこと。
- ⑱道路の側溝やドブ板を持ち上げて、中のごみを拾わないこと。
- ⑲粗大ごみを拾わないこと。
→例：バッテリー／DVDプレイヤー／扇風機／布団／座布団／ダンボール／消火器／コンクリートブロック／金庫／金属棒／タイヤ／車輪／マンホールの蓋／三角コーン／コンロ／パソコン／ベビーカー／炊飯器／配布するごみ袋（700mm×500mm＝30ℓ）に入らない大きなごみ etc.
- ⑳スタッフの注意を聞くこと。
→スタッフの注意を無視する場合は、競技を中止させる場合があります。
- ㉑競技中にケガや事故などが発生した場合は、速やかにスタッフの指示を仰ぐこと。

■減点／失格ポイント

種類	内容	減点ポイント
競技規則に反する行為	⑩⑪ 禁止エリア（川／海／私有地）に立ち入る行為	-100
	⑫ 競技中に走る行為	
	⑬ チームがまとまって行動しない行為（先頭と最後尾が10m以内）	
	⑭ 電車／バス／タクシー／自転車など、徒歩以外の手段で移動する行為	
	⑮ ごみの分別区別を守らない行為	
	⑰ 漂流ごみの液体や注射針など、危険なものに触れる行為	
	⑱ 道路の側溝やドブ板などを持ち上げて、中のごみを拾う行為	
	⑲ 粗大ごみを拾う行為	
競技終了時に関する行為	④ 車道に身を乗り出してごみ拾いをする行為	-100
	⑦ 競技時間・競技エリアを守らない行為	
	⑧ メンバー全員揃って競技を終了しない行為	
	⑨ 競技終了後、閉会式会場に戻ったことを本部に報告しない行為	
スポーツマンシップに反する行為	① 公序良俗に反する行為	失格
	⑯ 故意にごみの重量を増やす行為	
	⑳ スタッフの注意を聞かない行為	